



Fukushima Airport

令和2年度 福島空港貸切バス借上支援事業

福島空港利用促進協議会

福島空港利用促進協議会では、旅行会社を対象に福島空港国内線を利用して貸切バスで本県等を周遊する団体旅行を支援します。

※ 申請期限は出発日の15日前です。

※ 交付決定額が予算額に達した時点で事業を終了します。お早めに申請くださいますようお願いいたします。

※ 個人包括旅行運賃(IIT)によるパッケージ商品や、募集型旅行は対象となりませんのでご注意ください。

100,000円を上限に、予算の範囲内で助成します。

補助額及び補助対象等は以下のとおりです。

| 補助対象事業者 | 補助対象 | 補助額 |
|--|--|---|
| 福島空港を利用した国内線により旅行商品を催行する以下のいずれかの事業者。 1 一般社団法人日本旅行業協会に加盟している旅行会社。 2 一般社団法人全国旅行業協会に加盟している旅行会社 3 1、2の条件を満たす複数の旅行会社により構成される団体等。 | 以下に定める条件をいずれも満たす旅行の催行。 1 福島空港国内線(国内チャーター便を含む。)を利用した受注型企画旅行であること。 2 1団体10名以上の旅行であること。 3 利用する貸切バスは小型以上であること。 4 福島県内の旅館・ホテルに1泊以上宿泊すること。 5 福島県内の観光地を1箇所以上、コースに組み入れること。 6 学校行事として実施する旅行、旅行会社に対する他のバス助成制度を活用した旅行(旅行者個人への助成を除く)のいずれにも該当しないこと。 | 貸切バスの借りに要する経費と10万円(1台あたり)を比較して低い方の額(福島空港片道利用は半額)ただし、補助額は1事業者あたり、年間20万円を上限とする。 なお、この金額に消費税相当額は含まない。 |

【お問い合わせはこちらまで】

福島空港利用促進協議会(事務局:福島県空港交流課)

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

TEL:024-521-7127 FAX:024-521-7913

福島空港貸切バス借上支援事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 福島空港利用促進協議会（以下「協議会」という。）は、福島空港を利用した誘客促進を図るため、貸切バスを利用した福島県への団体旅行を催行する事業者（以下「事業者」という。）に対し、福島空港利用促進協議会補助金交付規則（以下「規則」という。）及びこの要綱の定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付する。

(助成の対象及び補助額)

第2条 補助金は、別表に掲げる福島県への送客を目的とした貸切バスを利用した旅行について、同表に定める事業者に対して交付するものとし、その額は同表に定める額とする。

(申請書の様式等)

第3条 規則第4条第1項の申請書は、第1号様式によるものとし、その提出期限は、当該事業を実施する日の15日前までとする。

2 申請書に添付すべき書類は、次に掲げるものとする。

- (1) 事業計画書
- (2) その他参考となる資料

(補助金の交付条件)

第4条 規則第6条第1項に規定する交付の条件は、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）及び補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）に従うこと。

(申請を取り下げることのできる期日)

第5条 規則第7条第1項に規定する別に定める期日は、交付の決定の通知を受理した日から起算して10日を経過した日とする。

(変更等の承認申請)

第6条 規則第9条第1項の規定に基づき、承認を受けようとする場合は、補助事業変更（中止・廃止）承認申請書（第2号様式）を提出しなければならない。

2 規則第9条第1項第1号の別に定める軽微な変更は、補助額の増額を伴わない貸切バスの借り上げに要する経費の変更とする。

(完了報告)

第7条 補助事業を実施した事業者は、当該事業が完了したときは、速やかに完了報告書（第3号様式）を提出しなければならない。

(実績報告)

第8条 規則第11条第1項の規定による実績報告は、補助事業実績報告書（第4号様式）に次に掲げる書類を添えて、事業完了の日（事業廃止については、承認を受けた日）から起算して30日を経過した日又は補助金の交付の決定があった日の属する年度の3月31日のいずれか早い日までに行わなければならない。

(1) 事業実績報告書

(2) その他参考となる資料

(補助金の交付の請求)

第9条 補助金交付の決定の通知を受けた事業者は、補助事業が完了したときは、福島空港貸切バス借上支援事業補助金交付請求書（第5号様式）を速やかに提出しなければならない。

(会計帳簿の整備等)

第10条 補助金の交付を受けた事業者は、補助金の収支の状況を記載した会計帳簿その他の書類を整備し、補助事業の完了した日の属する会計年度の翌年度から起算して5年間保存しておかななければならない。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

別表（第2条関係）

| 補助対象事業者 | 補助対象 | 補助額 |
|--|--|---|
| <p>福島空港を利用した国内線による旅行商品を催行する以下のいずれかの事業者。</p> <p>1 一般社団法人日本旅行業協会に加盟している旅行会社。</p> <p>2 一般社団法人全国旅行業協会に加盟している旅行会社。</p> <p>3 1、2の条件を満たす複数の旅行会社により構成される団体等。</p> | <p>以下に定める条件をいずれも満たす旅行の催行。</p> <p>1 福島空港国内線（国内チャーター便を含む。）を利用した受注型企画旅行であること。</p> <p>2 1団体10名以上の旅行であること。</p> <p>3 利用する貸切バスは小型以上であること。</p> <p>4 福島県内の旅館・ホテルに1泊以上宿泊すること。</p> <p>5 福島県内の観光地を1箇所以上、コースに組み入れること。</p> <p>6 学校行事として実施する旅行、旅行会社に対する他のバス助成制度を活用した旅行（旅行者個人への助成を除く）、国・地方公共団体・公的団体が主催する事業、宗教活動・政治活動を目的とした旅行のいずれにも該当しないこと。</p> | <p>貸切バスの借り上げに要する経費と10万円（1台あたり）を比較して低い方の額。（福島空港片道利用は半額）</p> <p>ただし、補助額は1事業者あたり20万円を上限とし、予算の範囲内で助成する。</p> <p>なお、この金額に消費税相当額は含まない。</p> |

第1号様式(第3条関係)

番 号
年 月 日

福島空港利用促進協議会長

住所又は所在地
申請事業者名
代表者(役職・氏名)

印

福島空港貸切バス借上支援事業補助金交付申請書

令和 年度において、下記のとおり福島空港貸切バス借上支援事業を実施したいので
福島空港利用促進協議会補助金交付規則第4条第1項の規定により、補助金 円を
交付して下さるよう申請します。

記

- 1 事業の目的
福島空港を利用した団体旅行の催行
- 2 提出書類
 - (1) 事業計画書
 - (2) その他参考となる資料

第1号様式(1)

申請者名 _____

事業計画書

| | |
|--------------|-------------------------------|
| <団体名または代表者名> | |
| <参加者数> | 名 |
| <催行期間> | 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 |
| <利用路線> | |
| <利用便名> | (往 路) (復 路) |
| <行 程> | |
| <バス事業者> | |
| <バス借り上げ費用> | 円 |
| <バス台数・種類> | 台 ----- 大 型 ・ 中 型 ・ 小 型 |

(添付書類)

- *参加者数(添乗員は含まない。)については、別途参加者名簿を添付して下さい。参加者名簿は任意のもので結構です。
- *行程については、別途行程表を添付しても構いません。
- *バス事業者が発行する貸切バスの借り上げ費用が分かる見積書等を添付して下さい。

第2号様式(第6条関係)

番 号
年 月 日

福島空港利用促進協議会長

住 所 又 は 所 在 地
申 請 事 業 者 名
代 表 者 (役 職 ・ 氏 名)

印

福島空港貸切バス借上支援事業
変更(中止・廃止)承認申請書

下記により令和 年度福島空港貸切バス借上支援事業の事業計画を変更(中止・廃止)したいので、福島空港利用促進協議会補助金交付規則第9条第1項の規定により、承認して下さるよう申請します。

記

- 1 補助金の交付決定年月日及び番号
- 2 変更(中止・廃止)の理由
- 3 変更(中止・廃止)の内容

第3号様式(第7条関係)

番 号
年 月 日

福島空港利用促進協議会長

住所又は所在地
申請事業者名
代表者(役職・氏名)

印

福島空港貸切バス借上支援事業完了報告書

令和 年度福島空港貸切バス借上支援事業について、下記のとおり完了したので報告します。

記

| | |
|----------|------------------------|
| 事業名及び箇所名 | 福島空港貸切バス借上支援事業 福島空港 |
| 交付決定年月日 | 年 月 日付け 補助金交付決定通知書 |
| 交付決定額 | 円 |
| 着手年月日 | 年 月 日 |
| 完了年月日 | 年 月 日 |

第4号様式(第8条関係)

番 号
年 月 日

福島空港利用促進協議会長

住所又は所在地
申請事業者名
代表者(役職・氏名)

印

福島空港貸切バス借上支援事業実績報告書

令和 年度において、下記のとおり福島空港貸切バス借上支援事業を実施したので福島空港利用促進協議会補助金交付規則第11条第1項の規定によりその実績を報告します。

記

- 1 事業の目的
福島空港を利用した団体旅行の催行
- 2 提出書類
 - (1) 事業実績調書
 - (2) その他参考となる資料(福島空港利用実績が確認できる書類等の写し)

第4号様式(1)

申請者名 _____

事業実績調書

| | |
|--------------|-------------------------------|
| <団体名または代表者名> | |
| <参加者数> | 名 |
| <催行期間> | 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 |
| <利用路線> | |
| <利用便名> | (往 路) (復 路) |
| <行程> | |
| <バス事業者> | |
| <バス借り上げ費用> | 円 |
| <バス台数・種類> | 台 ----- 大 型 ・ 中 型 ・ 小 型 |

(添付書類)

- *航空会社発行の搭乗券の写し又はそれに準ずるものを添付してください。
- *参加者数(添乗員は含まない。)については、別途参加者名簿を添付して下さい。参加者名簿は任意のもので結構です。
- *行程については、最終行程を記載願います。別途行程表を添付しても構いません。
- *バス事業者が発行する貸切バスの借り上げ費用が分かる請求書の写し等を添付してください。

第5号様式（第9条関係）

番 号
年 月 日

福島空港利用促進協議会長

住所又は所在地
申請事業者名
代表者（役職・氏名）

印

福島空港貸切バス借上支援事業補助金交付請求書

令和 年 月 日付け福空協第 号で交付決定のあった福島空港貸切バス借上支援事業補助金について、下記により金 円を交付して下さるよう請求します。

記

| 事業名及び箇所名 | 福島空港貸切バス借上支援事業 福島空港 |
|--------------------|------------------------|
| 事業費 | 円 |
| 交付決定額 又は精算額 (A) | 円 |
| 受領済額 (B) | 円 |
| 今回請求額 (C) | 円 |
| 残額 (A)-(B)-(C) | 円 |

「福島空港貸切バス借上支援事業補助金」

振込口座情報

申請団体名 _____

| | |
|--------|---------|
| 金融機関名 | |
| 支店(所)名 | |
| 預金種別 | 普通 ・ 当座 |
| 口座番号 | |
| 口座名義 | |
| 口座名義カナ | |